

## 第471回 番組審議会

1. 日 時 平成24年1月17日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 11名

出席委員 9名

委員 長 清野 雅子

副委員 長 千葉 幸長

委員 望月 善次

委員 坂本 修

委員 柴田 和子

委員 池田 克典

委員 吉江 信博

委員 鈴木 正之

委員 遠藤 雅也

欠席委員 2名

委員 福田 泰司

委員 平 英一

社側出席者 矢後 勝洋 (代表取締役会長)

檜崎 憲二 (代表取締役社長)

石井 修平 (専務取締役)

淵沢 行則 (取締役報道制作局長)

菅野 智 (営業局長)

遠藤 隆 (報道制作局次長)

事務局 山信田 寧 (編成技術局長)

畠 義真 (編成技術局編成部長)

平山 亜希子 (編成技術局編成部主任)

4. 議 題

1. 12/30(金) 14:00～15:50 いわてことし2011

2. その他ご覧になった番組についてのご意見

5. 資 料

資料として以下のものを配布

- ・ 視聴者からのご意見

## 6. 意見

### 委員側意見

○震災が中心ということで、登場人物も釜石東中や、漁業従事者、高齢者が網羅されており、いろいろバリエーション豊かだった。証言や、再起にかける思い、未曾有の惨禍から立ちあがろうとする沿岸の人々の姿が伝わってきた。番組のメッセージも伝わってきた。

○震災で被災された人が主人公だったが、わが身を呈して地域をまもった人もいる。警察官とか消防団員とか、そういう人たちに敬意を表して遺族、同僚なども登場させても良かったのでは。また無名のボランティアの1年でもあったので、登場させても良かった。

○2011年は記憶に残る年で、今回の総集編的映像は復興したときにそのときと比べると意味があるのではないかと思う。

○羅列的な重大ニュースではなく、絞ったテーマ構成、過去と現在を調整していて、キャスターのコメントの内容も考えられていて総力を挙げて制作したのがよく分かる。個々のテーマ、宝来館、スポーツ、平泉、いずれも評価すべき内容だ。

○原発事故関連は、これのみが現在進行形なので、別の処理もあったとおもう。

○東日本大震災を、阪神大震災、関東大震災と比較検証する報道があってもいいかと思う。

○津波で流された釜石の菊池さんは奇跡的に助かったことがわかるが、同じように車ごと流されなくなった人も多し、そういったご家族からは車ごと流す映像を見るのはつらいときいたことがある。繰り返し津波の映像を流すのはいかがなものか。

○釜石東中学校の生徒さんの避難の話は何度でも放送してほしい。大川小学校の悲劇を考えると特にそうだ。「遠くより、高くへ」を強調してほしい。

○自殺者の問題をきちんとやるべき。阪神大震災のときに教訓がのこっている。

### テレビ岩手側意見

○ほかの地域や、日本全国との比較で岩手のことを考えるという提言は、今後番組作りに考えていきたいと思う。

○亡くなった消防団員や警察官を取材することについては視点が欠けていたので検討したい。

○阪神大震災、関東大震災との関連は貴重なご指摘で、歴史的に振り返る広い視野を持ちながらやっていきたい。

○差別化についてはテレビ岩手は個人にスポットをあててドラマを引き出すという手法、震災で各局それぞれの傾向が色濃く出た。

- 原発関連については、岩手は風評被害が多いので放射線の問題に重点を置く。
- 平泉が一人勝ちなのはそのとおりで、点から面への広がり期待して報道していく。

7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

特記事項はないが、関連部署に議事録を配布するなど関係者に審議の内容を伝えた。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ・自社制作番組「あなたと歩むテレビ岩手」

平成24年1月24日(火) (午前11時45分～11時52分放送) で、審議の概要を放送。

- ・支社・支局に議事録を設置
- ・当社のインターネットのホームページで議事録を公開